

アートな麻布に魅せられて⑪

スヌーピーミュージアムに行ってみよう! オープン記念展～愛しのピーナッツ。～



© Peanuts Worldwide LLC

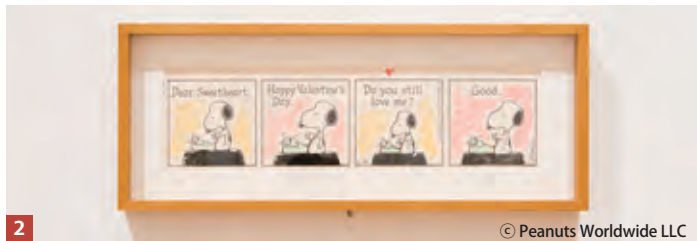
2016年4月23日、六本木に誕生した『スヌーピーミュージアム』。日本でもお馴染みのキャラクターである“スヌーピー”の美術館、どんな展示や演出があるのかとても楽しみだ。

“ピーナッツ”って?

ご存知の方も多いと思うが、このスヌーピーはアメリカの漫画家チャールズ M. シュルツが描いた『ピーナッツ』に登場するビーグル犬だ。

ご存知ない方もいらっしゃると思うので申し添えると、実は彼(スヌーピー)は主人公ではない。では本当の主人公は?というところ。チャーリー・ブラウンという少年。彼が飼っているのがスヌーピー。主人公 チャーリー・ブラウンとそれを取り巻くスヌーピーをはじめとする個性豊かなキャラクター達とのコミカルなやり取りから生まれる心理描写こそがこのマンガの真骨頂。

今回の記念展の最大の見どころはシュルツ氏の奥様、ジーン・シュルツさんが選り抜いた「愛しの」ピーナッツ原画60点。バレンタインデーにシュルツ氏から贈られたという原画は世界初公開。ファンならずとも胸躍るに違いない(残念ながら、本原画の公開は9月25日で終了している)。

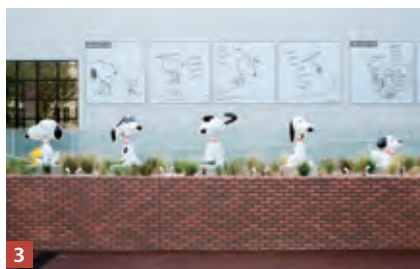


© Peanuts Worldwide LLC

このスヌーピーミュージアムでは、本家「シュルツ美術館」が所蔵する貴重なコレクションを半年ごとの企画展で次々と公開していくそう。つまり、「何度も楽しめる」ということ。シュルツ美術館世界初のサテライトとなるスヌーピーミュージアム。万感の思いを込めて「ようこそ! 六本木へ!!」。

入口からお出迎え

実際お伺いすると入口から歴代5体のスヌーピーがお出迎え。「ウェルカムスヌーピー」とネーミングしているそう。 (ご存知の方には申し訳ない話だが) 最初の頃のスヌーピーが四足歩行していたことに驚いた。作者であるシュルツ氏も「(作中で) 一番変わったのはスヌーピー」と言っていたそう。その愛くるしい姿から主人公をも凌ぐ人気者となったスヌーピー。今回『スヌーピーミュージアム』という名を冠していることからそれがうかがえる。入口からその変化を、かわいい姿を目の当たりにできる演出に一層心躍る気持ちになった。



© Peanuts Worldwide LLC

期待の館内は?

早速中に入ってみると圧巻のアート作品が飛び込んでくる。チャーリー・ブラウンとスヌーピーが仲良く寄り添う姿にほのぼのとしながら近付いてみると、たくさんの漫画本編で構成された3Dアートになっている。1951～1975年までの漫画を4452枚も使って構成されている。

とても快適な空間で色々な発見をさせてくれる展示となっている。

映像ルームや今回の見どころとなる原画展示やたくさんのコレクション。主人公の名前を冠した「BROWN'S STORE」や(キャラクターの1人である)ライナスの“安心毛布”から名付けた「Cafe Blanket」など、見どころいっぱいの演出と心安らぐひとときを満喫できる。

外に出てみて

都会の喧騒を忘れ、心癒され、ミュージアムをあとに表に出た時にふと感じた。六本木の真ん中ながら静けさのある雰囲気。「この場所で正解なんだ」となずけた。取材であることもすっかり忘れてスヌーピーに癒されっぱなしだった。2018年9月までの期間限定とのことだが、「もっと長くここに居て欲しい」と思わずにいられない。ファンならずとも「もう一度足を運びたいくなる」この空間、ぜひ一度体感していただきたい。

繰り返しになるが、万感の思いを込めて「ようこそ! 六本木へ!!」。

www.snoopymuseum.tokyo/visit
電話/03-6328-1960

2016年10月8日(土)～2017年4月9日(日)は第2回展覧会「もういちど、はじめましてスヌーピー。」を開催。



- 1 本家シュルツ美術館を思わせる瀟洒な佇まい。
- 2 非常に珍しい色付きの原画。バレンタインデーにシュルツ氏が奥様に贈ったものだ。
- 3 入口の“ウェルカムスヌーピー”。一番右側が四足歩行だった最初の頃のスヌーピー。1950-2000年の連載中の代表的なスタイルをピックアップ。共通しているのは「みんなかわいい」こと。
- 4 解放感あふれるホールにチャーリーとスヌーピーの仲睦まじいイラスト。大谷芳照氏によるアート作品。本家シュルツ美術館にも同様の展示がある。
- 5 4452枚もの漫画で構成されている。その圧倒的スケールに驚かされる。1点1点自分好みの作品を探してみるのも一興だ。
- 6 入場券も入場日と同じ日にちに発表されたコミックをあしらった「メモリアルチケット」。嬉しい演出だ。
- 7 店内のテーブルはライナスの毛布のカラーリングに、オープンテラスなど、落ち着いた雰囲気のCafe Blanket。
- 8 カフェのメニューも豊富。オリジナルのドッグディッシュスタイルの演出でスヌーピー気分になれることができる。
- 9 白を基調とした明るいギャラリーにカラフルな展示が目を引き。老若男女問わず、とても快適に楽しむことができる。
- 10 BROWN'S STOREにはたくさんのグッズが並び。驚くことにほぼ全てここだけの限定アイテムなのだ!



© Peanuts Worldwide LLC



8



© Peanuts Worldwide LLC



© Peanuts Worldwide LLC

麻布びと

未来へ残したい麻布の声



医学博士・医療法人社団 光輝会 理事長
つちや 土屋 輝昌さん てるまさ

今回、登場して下さるのは、港区立東町小学校、城南中学校(現・六本木中学校)出身、昭和35(1960)年生まれの麻布びと、土屋輝昌医学博士。地元・麻布にクリニックを開き、心温まる医療と看護と介護の連携を通し、「トータルケアマネジメント」のシステムづくりと運営に時間といのちを捧げる異色のホームドクターである。

患者と家族と地域をむすぶ

麻布のホームドクター

クリニックの信条—
心温まる医療と介護、
心のケア。書道の先生
をなさっている土屋
医師の奥さま直筆。



新たな道を切り開く 総合連携ケアシステムのエキスパート

けやき坂から旧テレ朝通りに抜けるビル街の一角に、町の小さな診療所「麻布光輝クリニック」がある。なんと、土日祝日も診てくれる。「港区には大病院が沢山ありますが、医師の大半は区外や郊外から通勤してくるため、土日祝日は医療機関が手薄になります。ですから、うちでは医師たちが交代で対応しています」と、院長の土屋輝昌医師は、語る。

土屋医師はもともと、東京大学医科学研究所で遺伝子の研究をしていたが、ハーバード大学での研究生生活を経て、基礎研究から臨床医学の応用へと関心が移った。帰国後は、独居化・超高齢化が深刻な日本社会で、医療と介護、患者とその家族を支えるシステムが不十分であることに驚き、麻布に戻り、開業した。「自宅にも近い、昔からなじみのある西麻布三丁目にちょうどいい物件が見つかりましてね。患者と医師の住まいは、近い方がいいですから、クリニックを中心に、半径5キロ圏内で往診しています。」

しかし、週に1度の往診で患者とふれあうのは、せいぜい長くても30分。それだけでは十分なサポートとは言えない。そのため、クリニックの4階にケアマネジャーとホームヘルパーの事業所を開き、スタッフを整え、在宅ケアサポートを充実させた。

一方、体は元気でも、一人暮らしに不安を抱える高齢者も多い。そこで、自立型のお年寄りを対象としたサービス付き住宅施設と連携し、一人でも安心して暮らせる場、選択の幅を広げた。

さらに、医療的ケアを必要とする場合には、ホスピス機能と訪問看護ステーションを備えた「青山メディケア」で、24時間365日体制のケアが受けられる。また、ショートステイやデイサービスが利用可能な施設も併設し、様々な段階とニーズに対応できる「トータルケア・複合システム」を完成させた。しかし、「麻布光輝クリニックを開業した当初から、現在のような、しっかりとしたシステムを考えていたのではなく、手探りで、ようやく今のスタイルに辿りつきました。私はせっかちなB型なので、壁を壁とも思わず進んできましたが、周りから見れば大変だったかもしれません」と、これまでの歩みを振り返った。

活動の原点と原動力

開業から10年。在宅医療と訪問介護の最前線を走る土屋医師。その原点は、子ども時代に遡る。高校受験を前にしたクリスマス・イブ、銀座で貿易会社を営む父が急逝し、不条理に対峙した。下に妹と幼い弟がいる15歳の少年に、当時の担任の先生は奨学金の手続きをしてくれた。その後、高校、大学、大学院へと進み、すべての奨学金の返済を終えたのは、ほんの数年前のこと。当時の奨学金制度を支えてくれた世代と地域への恩返し、それが原動力となっているようだ。

麻布光輝クリニック



旧テレ朝通り、ピンクのやさしい色調の外観。



一人で抱えず、さまざまな人々と協力し、 オンとオフは切り替える

複数の施設を連携させ、週末も勉強会やセミナーなどを開く土屋医師。インタビューも、フル回転、フルスピード、かつエネルギッシュ。途中、患者さんのご家族がクリニックを訪れると、軽やかに対応。再びインタビューに戻ると、会話の速度はゆったりと、順序立てて丁寧に、わかりやすく話を続けられる。また、青山の施設に移動する車の中でも、寸暇を惜しんで細かい質問に答えて下さった。そんな多忙を極める日々の中、「外来・往診は完全予約制で、私も週2日は休みを取っていますよ」という。いったい、どのようにスケジュール管理をなさっているのか、その達人ぶりにも興味がわく。

「一人で抱え込むことは無理なので、現場のことは出来るだけ、担当医師やスタッフに任せています。その方が優秀な人材が育ちます。何か問題が起きた時の解決や総括、最終的な責任を取る時には、私が登場します。パソコンの操作にしても、平成生まれのスタッフに任せた方が早いでしょ？私の唯一の趣味が、鮎の友釣り。これがやりたいから、日本に帰って来たんですから」と笑う。「亡き父の墓が伊豆にありましてね。今の時季になると、墓参りと親戚への挨拶をかねて、河津川へ、鮎の友釣りに出かけます。あれは、人生と家庭を崩壊する人がでるくらい、のめり込んでしまう難しい釣りなんです。だからこそ、面白いんですよ。簡単だとつまらない」と、困難にこそ挑む土屋医師の姿が、そこにもあった。

鮎は川を遡上する一稚魚は春に川を上り、夏に川の清流で成魚となり、秋には川を下って産卵する。麻布に育ち、国内外で活躍し、地元に戻り、地域に尽くして10年。これからの医療と介護、私たちの老後、超高齢化社会は、どこへ向かっていくのだろうか。

本紙では引き続き、麻布の医療と福祉のゆくえを追っていきたいと思っている。

区の高齢者相談窓口では、高齢者支援のネットワークの拠点として、随時、皆様のご相談に応じております。

麻布地区高齢者相談センター
電話:03-3453-8032 Fax:03-3453-6269
所在地:港区南麻布1-5-26
窓口受付時間:月曜～土曜 9:00～19:30
日曜・祝日・年末年始 9:00～17:00
(電話相談は24時間受け付けています)

青山メディケア



入居者の心が安らぐように、各個室は地域の方たちが慣れ親しんだ「麻布周辺の旧町名」という配慮が施されている。



明るくて清潔な個室。床暖房を備えたクッション性もあるフロアは、心身ともに温まる。



閑静な住宅街にある「青山メディケア」の外観。



緊急プザーは、万が一、具合が悪くなっても手が届く足元へ。

(取材・文/小池澄枝 取材・編集/田中亜紀)



地域社会 の ゆくえ

20

港区 自転車シェアリング



2年前に始まった港区の自転車シェアリング(共同利用)。オフィス街で赤い電動自転車に跨がるサラリーマンを見かけたこともありません。当初、放置自転車対策から始まったこの取り組み。環境に優しく、短距離の移動に便利、と利用者は増加傾向にあるものの、まだご存知ない方のために、利用例、乗り方などをご紹介します。

乗り捨て自在なレンタサイクル、こんな使い方



川崎から六本木への通勤。
「最近メタボが気になるし、
品川駅から自転車で行こうか。
夕立が来たら帰りは
地下鉄だなぁ。」



ワインの安売り。「4本も
持って帰れないけど、電動
自転車なら登り坂もへっちゃら。
折角だからもう一本!」



有明の森でテニス。「天気も
いいし、ウォームアップを兼ね
自転車で行ってみるか。帰りは
仲間と打ち上げだから
地下鉄かな。」

ラッシュ時の六本木。「渋谷の待ち合わせまであと20分、バスじゃ間に合わないかも。自転車で青山一丁目駅まで行って、地下鉄に乗れば、余裕でセーフだ。」



ランチで有名なレストラン。
「歩いて往復したら
昼休みが終わっちゃう。
そうだ、あの自転車なら、
間に合うかも。」



つまり、千代田・中央・江東と港区にあるどの**サイクルポート**(自転車の貸出・返却場所)でも自転車借りられ返却できるのが**自転車シェアリング**なのです。 <http://docomo-cycle.jp/minato/>

携帯電話とクレジットカードがあれば、手続きは簡単!

最初に会員登録

いつでも簡単にオンラインで手続きできます。

ケータイ又はPCで、こちらのサイト <http://docomo-cycle.jp/minato/> (或いは『港区自転車シェアリング』で検索)にアクセスし、パスワードやユーザーIDを決め、必要事項を入力。

クレジットカード又はドコモケータイ払いなど支払い情報を登録。

借りる自転車の『鍵』として使う交通系ICカードなどを選択して、手続き完了。



モバイルサイト

いざ借りる

最寄りのサイクルポートに行き、

- (1)自転車操作パネルで「スタート」を押す。
- (2)登録した『鍵』をパネルにかざす。
- (3)ロックが解除されたら、ラックから外して、いざ出発。

但し初回利用時だけは、登録の際発行された8桁のパスコードの入力が必要です。

そして返す

最寄りのポートを見つけ、

- (1)ラックに入庫。手で施錠し、操作パネルのランプが緑に変わるのを確認。
- (2)パネルの「エンター」キーを押すと、返却確認メールがケータイに届きます。



六本木1丁目アークヒルズサウスタワーにあるサイクルポート



自転車解錠の鍵: SuicaやPASMOといった交通系ICカードの他に、お財布ケータイ、専用ICカードなど利用可

どこで借りられるの?

右地図の印に、サイクルポートがあります。

4区広域実験実施中!

今年2月から、近隣の3区(千代田区、中央区、江東区)と相互乗り入れが始まり、4区に地域が拡大。さらに10月以降には新宿区の参加も予定され、益々便利になります。詳しくは、<http://docomo-cycle.jp/tokyo-project/>又は区役所各支所などにある冊子をご覧ください。



仕組みの裏側

- 現在区内に44ポート、710台の自転車が稼働しています。右肩上がりの利用状況から今年度中に1710台を配置予定です。
- サイクルポートは今年度末までに170ポート確保を目指しています。つまり333m四方に1ポート有るように、現在も設置場所を開拓中です。ご自宅近くに設置をご希望の方は、港区自転車シェアリング事務局:0120-116-819か、区役所の地域交通担当:03-3578-2212にご連絡ください。
- 借り手の多いポートと需要の少ないポートがありますが、4区内を巡回する9台のトラックが各ポートの自転車を再配置して、毎日調整しています。
- バッテリーの充電や故障は巡回トラックが晴海のストックヤードに運び手当てされます。
- 自転車の後ろにGPSとFOMAユニットを搭載しているので、自転車の位置情報、バッテリー残量などは一元管理されています。
- ポートが満車の場合、近くのポートに返却するのが原則ですが、満車のポートでもラックの付近で電波が感知するエリア内なら返却は可能です。
- 万が一の事故に備え、損害保険も付加されています。

麻布地区周辺のサイクルポートマップ



(平成28年8月現在)

ご注意頂くこと

- 電動自転車の乗り方は、下の写真をご覧ください。普通の自転車のように片脚助走をすると、急加速するため転倒し易くなり思わぬ事故につながります。
- 昨年の道路交通法改正以来、自転車の通行違反も取り締まりの対象になりました。利用の前にこちら<http://docomo-cycle.jp/minato/manner/>でルールの確認をしましょう。
- 放置禁止区域に駐輪すると、自転車シェアリングといえども撤去の対象になります。一時駐輪する時は正しい場所に停めましょう。

麻布地区は坂道が多くて自転車はどうも…と敬遠されて来た貴方。青空の広がるこの秋、電動自転車を駆ってシティサイクリングを楽しんでみませんか。

電動自転車の安全な始動



1 まず、高さを調節して



2 スタンドを外し跨がり



3 前後を確認してからペダルを漕ぐ



ハンス・カール・フォン・ヴェアテルン
(Dr. Hans Carl von Werthern)駐日ドイツ大使

ドイツ連邦共和国
面積:35.7万km² (日本の約94%)
人口:8177万人(2015年)
首都:ベルリン
元首:ヨアヒム・ガウク大統領
議会:二院制(但し連邦議会と比べ連邦参議院の権限は限られている)

参考:外務省ホームページ
<http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/germany/>

——ドイツ連邦共和国

取材協力/
ドイツ連邦共和国大使館

GERMANY

ヨーロッパの強力な経済拠点、成熟したライフバランス。魅力溢れるドイツ

有栖川宮記念公園脇の南部坂斜面に沿って佇む駐日ドイツ連邦共和国大使館。芝生と池と大木のある庭園の深い緑に囲まれ、大使公邸も併設されています。

今回特別に公邸でのインタビューが実現。5月の伊勢志摩サミットなど外交日程が目白押しの中、メルケル首相も来日時に散策されたという広大な庭園内の見学もさせていただき、ドイツ文化に触れる有意義な時間を過ごすこととなりました。

ドイツ流ライフバランスの教え 人生には仕事・休暇・家族の全てが含まれ、仕事と人生は対立するわけではなく、いい仕事であれば喜んでやり、それが人生の一部になる。



1957年に建てられた大使公邸。設計はドイツと日本の松田平田設計事務所の共同プロジェクトで行われた。

2か国の共通点と違いが 社会・文化によく反映されている

ハンス・カール・フォン・ヴェアテルン(Dr. Hans Carl von Werthern)駐日ドイツ大使(以下大使と表記)の海外赴任は1987年のベトナム・ハノイを皮切りに、ベルギー、バラグアイ、イギリス、中国・北京など多国にわたる。2014年より、駐日大使を務めていらっしゃる。

初来日はハノイに赴任中の1989年。当時と比べて、日本の印象を伺うと、「都市開発など多くの変化はありますが、根本的な日本の精神風土、礼儀正しく、親切な国の印象は不変です。私自身が新米外交官として初来日した頃と大使として再来日した大きな変化と比べて、変わらない日本の魅力です」。更に伝統を重んじる精神、何事にも真面目に真摯に取り組む姿勢は、ドイツ人気質とも共通する、と大使。

例えば、日本での輸入車の人気、販売シェア共にドイツ車がトップだ。ドイツでも日本車の評価は技術面や完成度の高さと、支持率は上位を占める。機械製造、電気工学、薬品産業などドイツの主要産業を見ても、双方に共通する国民性が大いに影響を及ぼしているようだ。

ところで車と言えば、1万2000kmに及ぶ高速道路、アウトバーンが有名だが、自転車専用道路の発達も目を見張るものがある。驚くことに、信号のない自転車専用のアウトバーンまで完成している。道幅は4m、追い越し車線や街灯なども完備の完成度の高い道路だ。大使の趣味の一つは自転車。サイクリングを通して、区内・都内の坂の多さに気づかされたそう。自転車道路に関しては、港区はもちろん、日本の今後の大きな課題と言えるだろう。

また大使が日独の違いとして強調されたのが、日本でよく言われる「ワークライフバランス」ではなく、「ライフバランス」。つまり仕事は人生の一部であり、仕事と対立するわけではないという。それはドイツ人の有給休暇の消化率の高さにもよく表れ、

休暇を積極的に取れない私たちのお手本を示してくれる。



ビールの法律とペット税の話題に

大使はジョギングにも親しまれ、東京の生活をエンジョイされているご様子。ドイツはワインもビールも美味しいですねと伺うと、嬉しそうに頷かれた。そして、ドイツのビールについて、驚異の実話が飛び出した。

それは、日本人と共通する「伝統を重んじる気質」にまつわるビールの歴史。この気質を象徴するのが、ビールに関する法律「純粋令」である。500年前の1516年、バイエルン王ヴィルヘルム4世が『ビールの原料は大麦、ホップ、水(後に酵母が追加される)に限定する』と定めた。それ以来、ドイツのビールは一貫して同じ製法と言うのだ。5世紀もの間、ドイツ全土で適用されていて、今年は何と500周年。ドイツ本国はもとより、日本でも盛大に式典が開催された。

大使は時間があれば、居酒屋に出没するのがお好きなようで、お気に入りのつまみは枝豆、刺身、鰹のたたきとか。日本の食文化にもすっかり馴染んでいらっしゃる。

今回の大使のお話は、知られざるドイツ社会の普段着の姿を様々伺うこととなった。もう1点、日本にはない「ペット税」に話が及んだ。

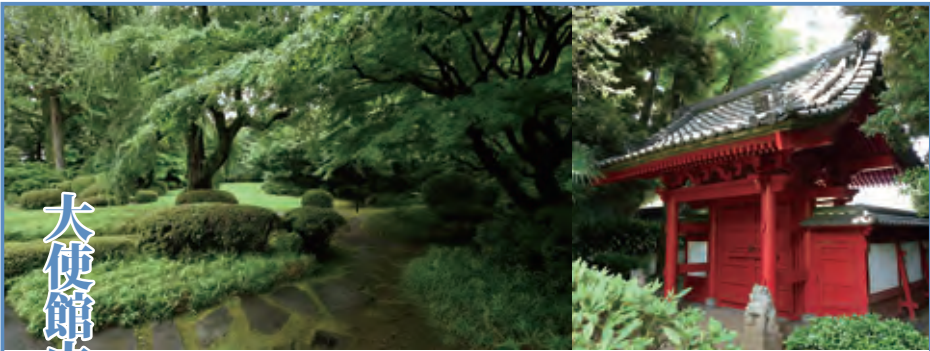
ドイツでは、犬を飼う人たちは「ペット税」の納税義務がある。大使は「この税金は当然だと考える国民が大半です」とおっしゃる。これもライフバランスの表れと考えられるが、ドイツのみならずオーストリア、オランダ、フィンランド、スイスなどでも導入されている税金だ。ドイツ人約8000万人が飼っている犬は約500万匹と言われ、市町村税の一種で、市町村により税額が異なる。1匹にかかる費用は年間100ユーロ前後。税の種類としては一般税で、特定の目的のためにのみ使われる目的税ではない。人間が住民税、犬はペット税というわけだ。そして、昨今日本で問題になっている犬

猫の殺処分だが、ドイツには殺処分場はないという。500か所以上の「動物の家」というシェルターで犬、猫、馬、豚、鳥、ウサギ、蛇などを保護し、里親探しをしている。

動物といえば、「ドイツ大使の見た日本」というブログでは、雪の地獄谷野猿公苑(長野県)をご家族で訪れたことなど、話は多岐に渡った。ドイツ大使館のホームページで読める大使のブログ更新も楽しみだ。

●ドイツ連邦共和国大使館ホームページ

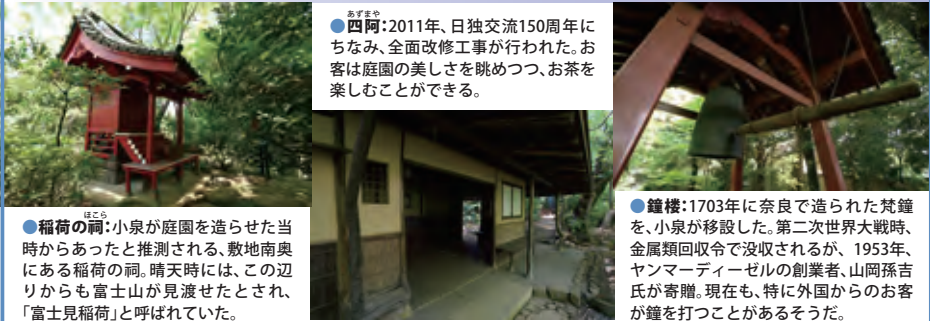
<http://www.japan.diplo.de/Vertretung/japan/ja/Startseite.html>



●庭園:大使公邸のリビングはパーティ会場にもなり、庭にそのまま出ることができる。手入れの行き届いた芝生と深い樹木、脇には池がある。

●武家門:小泉が移設した朱塗りの武家門は、庭園の東側にある。門の屋根には厄よけ、魔除けの鬼と獅子が配されている。

1万4500m²ある広大なドイツ大使館。大正時代には政治家、小泉策太郎(1872～1937)が建てた接客用の洋館と住居用の和館の邸宅があった。小泉は熱心な古美術の収集家で、その作品が現在も庭園に散在している。小泉の没後、日本タイプライター株式会社の創設者で衆議院議員の桜井兵五郎(1880～1951)が住んでいた。大使館が建設されたのは1956年である。庭園は、小泉が築いた当時の様子を今に残している。



●稲荷の祠:小泉が庭園を造らせた当時からあったと推測される。敷地南奥にある稲荷の祠。晴天時には、この辺りからも富士山が見渡せたとされ、「富士見稲荷」と呼ばれていた。

●四阿:2011年、日独交流150周年にちなみ、全面改修工事が行われた。お客は庭園の美しさを眺めつつ、お茶を楽しむことができる。

●鐘楼:1703年に奈良で造られた梵鐘を、小泉が移設した。第二次世界大戦時、金属類回収令で没収されるが、1953年、ヤンマーディーゼルの創業者、山岡孫吉氏が寄贈。現在も、特に外国からのお客が鐘を打つことがあるそうだ。

●参考文献 在日ドイツ連邦共和国大使館発行 「ドイツ連邦共和国大使館 建物と庭園」

(取材・文／大澤佳枝、高柳由紀子、田中康寛、畑中みな子)

麻布未来写真館

（色々な意味で入り組んでいる
不思議な坂）

なだれ坂

再開発著しい六本木1丁目周辺にスポットをあて、この界限ではめずらしい平仮名だけの坂、「なだれ坂」を訪ねてみた。どんな発見があるか楽しみだ。

坂名も複雑

“流垂坂”“奈太礼坂”“長垂坂”と昔から漢字で書いても呼び名が定まらない坂。港区の標識によれば、幸国(寺)坂、市兵衛坂の別名もあった、とある。現在の名称は「なだれ坂」とひらがなになっている。坂名の由来も諸説紛々はっきり定まったものがない。

入り組んだ地形

現在の六本木3丁目、旧町名で言うと麻布今井町、麻布市兵衛町、麻布筆箭町にまたがり、市兵衛町の尾根から六本木通りの谷に下る坂で、地形的に見ても入り組んだ場所にある。別名となる“市兵衛坂”は地名から考えられるのだが、“幸国(寺)”は古地図からも発見できなかった。確かにお寺が多い場所であるのは判るのだが、『新撰東京名所図会』による紹介の中では、「相馬家とは相馬大膳亮の中屋敷にて今、今井町四十番地の地なり。此坂は善学寺、円林寺前の坂とす。なだれの義は勾配強からずして斜に傾きたるを邦語なだれといへるより、蓋し其地勢上に得たる名なるべし」と解説されている。

この相馬家の中屋敷は現在の六本木2目なだれ坂下、六本木通りを挟んで向かい側に位置する。

住んでいた人まで複雑！

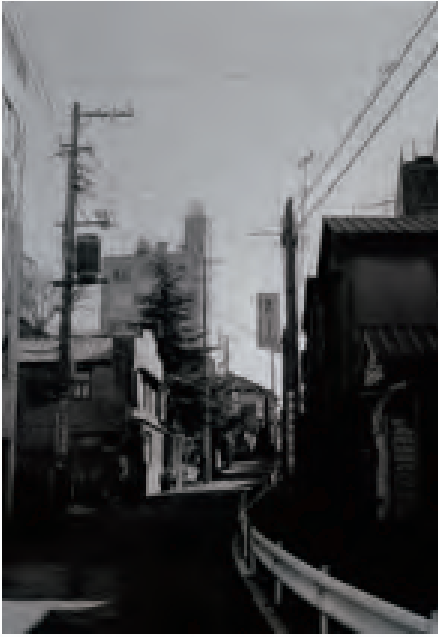
ここで出てくる“相馬大膳亮”とは相馬野馬追で有名な陸奥相馬中村藩藩主を指す。相馬氏は平家一門の名家で、鎌倉時代前半の平泉遠征後から江戸末期戊辰戦争終結までの約740年間に亘って現在の相馬市、南相馬市を統治してきた。ここまで長期間による統治を行った領主は島津氏(鹿児島県)、相良氏(熊本県)など少数で、世界史上に比しても稀有な存在と言える。その道のりは平坦ではなかったであろう。

こんなエピソードがある。戦国期、関ヶ原の戦いの際は常陸佐竹氏を盟主と仰ぎ西軍に属し敗戦。佐竹家は秋田に改易・転封となり、その際盟主・佐竹義宣の誘いを断ってまで徳川家康に改易撤回の訴訟をおこし本領安堵。頑なまでの地元愛を感じるエピソードだ。

六本木プリンスホテル→テレビ東京新本社

付いた坂名の因果か、現在でも文字通り「雪崩(なだれ)」の如き勢いで変遷をしている。

昭和59(1984)年に開業した六本木プリンスホテルはバブル絶頂期の憧れの象徴でもあり、バブル崩壊後の平成18(2006)年に営業終了となったが、現在再開発プロジェクトは着々と進み、テレビ東京が移転してくる予定となっているそうだ。色々な意味で今なお入り組んでいる「なだれ坂」。まだまだたくさんの魅力を“なだれ”の中に埋蔵させているに違いない。



昭和50(1975)年:「なだれ坂 坂下から」



平成25(2013)年



平成28(2016)年

●参考資料●
港区産業観光ネットワークMINATO あらかと
(<http://www.minato-ala.net/>) など



昭和50(1975)年:「なだれ坂 坂下を」



平成25(2013)年



平成28(2016)年 大分解放感がでた。
昔はここから相馬藩中屋敷が見えたかも…。

※昭和50(1975)年のなだれ坂は、写真撮影:田口政典氏、写真提供:田口重久氏によるものです。



江戸時代のなだれ坂周辺の古地図(「港区近代沿革図集 麻布・六本木」より)



現在のなだれ坂付近(六本木3丁目)

「麻布未来写真館」とは

港区麻布地区総合支所では、平成21年度から区民や企業等と協働し、麻布地区の昔の写真などを収集するとともに、定点写真を撮影し、麻布のまちの変化を保存する取組として「麻布未来写真館」事業を運営しています。

当事業は、麻布地区の資料収集・保存を通じて、住民の方々にとって身近な歴史・文化的な資料価値を持つ写真を保全・継承し、より一層活用することを目的としています。同時に、まちの歴史や文化をより多くの方々に知っていただき、まちへの愛着を深めていただく一助となることを目指しています。

「麻布未来写真館」
では、古い写真を
探しています。

未来に向けて、残し、伝えていくべき「麻布地区の古い写真」がありましたら、港区麻布地区総合支所までお寄せください。
詳細につきましては、「協働推進課地区政策担当」までお問合せください。
お問合せ 電話:03-5114-8812



愛に満ちた生涯を送ったヴォーリス・満喜子夫妻。
(公益財団法人近江兄弟社 所蔵)

麻布の軌跡

広岡浅子とヴォーリス・満喜子夫妻の絆

明治学院礼拝堂での挙式。花もち役の少女の中には、恵三・亀子夫妻の3人の娘もいる。(公益財団法人近江兄弟社 所蔵)
なお、本年献堂100周年を迎えるこの礼拝堂を含め、明治学院の歴史的建造物3棟が、今秋、東京文化財ウィークの期間(11月1～3日)公開される。
<http://www.meijigakuin.jp/>



大正8年(1919) 6月3日、麻布区材木町63番地(現六本木6丁目)の広岡家別邸にて、華麗なる結婚披露宴が催された。花婿はウィリアム・メレル・ヴォーリス、花嫁は華族であった一柳満喜子。広岡家のゴッドマザー、広岡浅子の姿はそこにない…。けれども困難だった二人の結婚を後押ししたのは、生前の浅子だった。今回紹介するのは、晩年の浅子と、若きヴォーリス、満喜子が結んだ愛と絆の物語である。



情熱をもって人生を切り開いた広岡浅子。
(写真提供／日本女子大学)

3人の登場人物

NHKの連続テレビ小説「あさが来た」のモデルとして描かれた**広岡浅子**(1849～1919)は、嫁ぎ先の加島屋の家業を発展させた事業家であり、また日本女子大学の創設にも尽力した。ドラマでは語られなかったが、還暦を過ぎてのちキリスト教を求道し受洗。日本YWCA(日本基督教女子青年会)中央委員、大阪YWCA創立準備委員長に就任、『基督教世界』にペンネーム「九転十起生」で執筆するなど布教活動が続けた。麻布材木町の別邸にて、大正8年1月14日、数え71歳で天に召された。(ザ・AZABU Vol.35)

ウィリアム・メレル・ヴォーリス(1880～1964)といえ、日本各地に遺された数々の美しい建物で知られている。しかし正確には、ヴォーリスは建築士として来日したのではない。敬虔なクリスチャンであった彼は、コロラド大学在学中に外国伝道への献身を決意。卒業後、YMCA(基督教青年会)の派遣で、明治38年(1905)現在の近江八幡市に赴任。英語教師として勤めながら、バイブルクラスを開く。3年後、京都YMCA会館の建築にかかわったことをきっかけに設計監督事務所を立ち上げる。そして近江セールズを設立して建築部材や家具、雑貨、のちにはメンソレータムの創業者との出会いによってメンソレータムを販売する。以後、伝道、収益、教育事業を含む近江ミッションを推し進めていく。第二次世界大戦の直前に帰化し一柳米来留と名乗り、日本に骨を埋めた。彼の遺志は現在も、近江兄弟社グループに引き継がれている。

一柳満喜子(1884～1969)は、広岡信五郎・浅子夫妻の一人娘、亀子の婿となった恵三の実妹である。一柳家は旧小野藩主であり、父・末徳は維新後上京して慶應義塾に学び、新しい身分制度のもとで「子爵」となった人物だ。しかし、満喜子は旧来の家族制度の男性中心の社会への反発から、東京女子高等師範学校で学んだのちは兄の恵三を頼って広岡家に身をよせる。神戸女学院音楽科を卒業し、渡米。その9年後の大正7年(1918)、ヴォーリスと運命的な出会いを果たす。そして結婚後はヴォーリスとともに近江ミッションを盛り立て、とくに幼児教育の発展に尽力した。

3人の接点

広岡家では、関西や東京の私邸、家業の大同生命の社屋ビルなど多数の建物の建築をヴォーリスに依頼している。浅子とヴォーリスは公私ともに親しかったというが、どのように出会ったのだろうか。一粒社ヴォーリス建築事務所の芹野与幸氏に情報を求めたところ、近江ミッションの活動アピール誌『The Omi Mustard Seed』、伝道家庭雑誌『湖畔の声』の大正4年(1915) 6月号の両誌に、二人の遭遇の場面の記録があるという。そこで筆者も見ると、67歳の浅子が全国的なキリスト教伝道の大会に同道して近江八幡を訪れ、その折の講演をヴォーリスが聴いたとある。熱意あふれる浅子の話は多くの人をひきつけ、非常に印象深いものであったようだ。ヴォーリスはその時35歳、浅子からすれば、察するに、同じ信仰をもち、未知の場所で道を切り開く青年への共感ほ惜しみないも

のがあっただろう。さらに芹野氏は、ヴォーリス独自の事業手法がビジネスウーマンの浅子の興味をひいたのではないかと分析する。ヴォーリスはYMCAという世界的なネットワークを駆使して人材や商材、情報を入手し、宣教師、日本人富裕層ら多彩な人間関係を介して、多くの顧客を獲得していったのである。浅子が亡くなった大正8年2月号の『The Omi Mustard Seed』には3ページにわたり追悼記事が掲載され、その中には、ヴォーリスは浅子から「half-dozen(6人)の親友の一人に数えられていた」とある。彼は追悼の詩も贈っている。(ページ下)

いっぽう満喜子は、実母を10歳で亡くしたこともあり、浅子を母のように慕った。神戸女学院を卒業後、一時、日本女子大学の晩香寮の副寮監として英語やピアノの教授に携わったのも、浅子のつてであろう。また浅子の旺盛なチャレンジ精神に触発され、渡米の道を選んだのかもしれない。そして麻布材木町の別邸で、広岡家が関西に新築する家の打ち合わせに通訳として参加し、ヴォーリスと出会う。その夜行われたアメリカ合衆国駐日大使ローランド・モリスを招いての晩餐会でも同席した。満喜子はヴォーリスに見初められ、彼女もその思いを受けとめていったのである。しかし華族と外国人の結婚は例がなく、非常識極まりないとして当初、恵三・亀子夫妻は反対する。だが浅子だけは二人の愛を尊重し、病床で恵三に彼らの結婚を約束させ、しかも誇りに思えるような威厳ある国際的な結婚式とするように言い遺した。そして満喜子は決意して、華族の身分を棄て結婚に臨んだ。

佳き日のおとずれ

かくして大正8年6月3日、佳き日を迎えた。白金今里町40～43(現白金台1丁目)、ヴォーリスが設計した明治学院礼拝堂(現存)での挙式には250名が列席し、披露宴は麻布材木町の別邸で行われた。広岡家、一柳家、浅子の実家の三井家、また麻布飯倉の南葵楽堂の創立でヴォーリスとかかわった徳川頼貞をはじめ、来賓の顔ぶれはそうそうたるもので、浅子の遺言どおりの盛大な式典となった。新聞各紙でも取り上げられ、中でもよみうり婦人付録(読売新聞)では、浅子の生前の言葉として「理想的な結婚」と題して報じている。ヴォーリス・満喜子夫妻、恵三・亀子夫妻の間柄は以降も良好で、同年、アメリカへの建築の視察旅行を共にし、広岡家はヴォーリスの事業へ経済的支援を続けた。

最後に、満喜子が浅子についての本の翻訳に携ったことにもふれておこう。『The Autobiography of Asa-ko Hirooka』は、恵三・亀子夫妻が、母の生涯を記念し発行した私家版の英語の本である。浅子が大正7年(1918)に上梓した著作『一週一信』の自伝部分に、浅子をよく知る教育者、ジャーナリストでもあったE・W・クレメントの序文、ヴォーリスが贈った詩などが加わり構成されている。満喜子が浅子に感謝し、心をこめてその作業を行った様子が思いうかぶ。そして、かげひなたとなって、前を向く者たちへ愛を注ぎエールを送る浅子の人間像は、今を生きる私たちの心にも深く響いてくる。

『廣岡浅子夫人に贈る』

土に返し 亡骸の そばに はべりて われは今 その命が とこしえの 主のみ手にあるべしと	汝がこの世に在りしとき 語りし言葉、ころざし 今もわれらの心に響き、 吹きゆく風のごと 消えゆかず	父なる神よ われらをば ともに 恵みを分かち合う いこいのみぎわに 導きたまえ
汝の命は この世での その体を離れゆき 永遠の世界に移された。	ああ 亡骸をみた 今でさえ 汝は我のかたわらに 身近に居ますを われ感ず	1919年1月15日 W.M.ヴォーリス (芹野与幸 訳)

出典：『浅子と旅する。』 いのちのことば社フォレストブックス

●参考文献 ●
平松隆円 監訳『メレル・ヴォーリスと一柳満喜子 愛が架ける橋』水曜社
広岡浅子著 影山礼子解説『人を恐れず天を仰いで 復刊『一週一信』』新教出版社
中尾祐子・フォレストブックス編集部『浅子と旅する。』いのちのことば社フォレストブックス
一柳満喜子(ヴォーリス夫人)訳『The Autobiography of Asa-ko Hirooka』日本女子大学 成瀬記念館 所蔵
『The Omi Mustard Seed』大正4年6月号、大正8年2月号 公益財団法人近江兄弟社 所蔵
『湖畔の声』大正4年6月号 公益財団法人近江兄弟社 所蔵
『日本女子大学四拾年史』日本女子大学校 昭和17年4月20日発行
朝日新聞＜復刻版＞79 日本図書センター
オンラインデータベース ヨミダス歴史館(読売新聞)

●取材協力 ●
株式会社 一粒社ヴォーリス建築事務所 史料・広報室長 芹野与幸さん

(取材・文／田中亜紀)

港区と東洋英和女学院の連携事業

東洋英和女学院大学「村岡花子記念講座」開設企画セミナー参加者募集

港区(麻布地区総合支所)と学校法人東洋英和女学院は、地域振興や国際交流等の分野で連携して取り組んでいくため、平成28年8月2日(火)に連携・協力に関する基本協定を締結しました。

本年10月からは、連続テレビ小説「花子とアン」の主人公のモデルにもなった東洋英和女学校(現 東洋英和女学院)卒業生村岡花子氏の名前を冠する講座が大学で新設されることを記念し、「東洋英和女学院大学『村岡花子記念講座』開設企画セミナー」を開催します。

- 定員 各回200名(先着順)
- 受講料 無料
- 場所 東洋英和女学院大学 大学院201 教室 (六本木キャンパス) 港区六本木五丁目14番40号
- 申込期限 各回開催日の2週間前
- 申込方法 メール、FAX、往復ハガキにて生涯学習センター横浜キャンパス事務室宛にお申込ください。

記入事項 お名前、ご住所、電話番号、FAX番号、参加希望の回(複数回記入可)をご記入ください。
※当日返信FAX、返信ハガキを必ずご持参ください。メールにてお申込の場合は返信メール画面写等確認可能なものをご提示ください。



日 時		内 容
第1回	10月15日(土)	「女子教育とミッションスクール」 ＜パネルディスカッション＞ ●加納孝代／活水女子大学学長 ●村上陽一郎／東洋英和女学院評議員 ほか
第2回	10月29日(土)	「史料室所蔵資料にみる女学生の日常」＜講演＞ ●東洋英和女学院史料室
第3回	11月19日(土)	14:00～16:00 (全5回共通) 「三人の女性から日本の近代を読む」＜講演＞ ●与那覇恵子／東洋英和女学院大学教授
第4回	平成29年 1月21日(土)	「日本の近代化を支えた女性たち」＜講演＞ ●池田明史／東洋英和女学院大学学長
第5回	平成29年 1月28日(土)	「これからの社会とキリスト教学校」 ＜パネルディスカッション＞ ●村岡恵理／作家 ●深町正信／東洋英和女学院院長 ほか

※会場はすべて六本木キャンパスです。
申込み・問合せ先／東洋英和女学院大学 生涯学習センター (横浜キャンパス事務室)
〒226-0015 神奈川県横浜市緑区三保町32
E-mail: shougaictr@toyoeiwa.ac.jp 電話／045-922-9707 FAX／045-922-9701

臨時福祉給付金及び障害・遺族基礎年金受給者向け給付金(年金生活者等支援臨時福祉給付金)のお知らせ

消費税率の引上げに伴う負担を軽減する措置として「臨時福祉給付金」を、低所得の障害・遺族基礎年金受給者への支援として「障害・遺族基礎年金受給者向け給付金(年金生活者等支援臨時福祉給付金)」を、それぞれ支給します。

臨時福祉給付金		障害・遺族基礎年金受給者向け給付金 (年金生活者等支援臨時福祉給付金)
対象者	平成28年1月1日時点で港区に住民票があり、平成28年度分の区民税(均等割)が課税されていない方 ※区民税が課税されている方の扶養親族等や生活保護制度の被保護者は対象になりません。	平成28年度臨時福祉給付金対象者のうち、平成28年5月分の障害基礎年金・遺族基礎年金等を受給している方 ※高齢者向け給付金を受給した方は対象になりません。
支給額	対象者1人につき3,000円	対象者1人につき3万円

※臨時福祉給付金と障害・遺族基礎年金受給者向け給付金の両方の対象条件に該当する場合は、2つの給付金を併せて支給します。

- 申請期間 平成28年9月27日(火)～平成29年1月13日(金)
※対象者には、平成28年9月26日(月)に申請書を発送しています。
- 申請方法 申請書に必要事項を記入の上、必要書類を添付し、同封の返信用封筒でご返送ください。
直接提出する場合は、以下の臨時受付窓口にお越しください。
※受付時間 平日(土・日曜、祝日を除く)午前8時30分～午後5時(水曜日のみ午後7時まで※台場分室は除く)
●芝地区総合支所 平成28年9月27日(火)～平成29年1月13日(金)
※芝地区総合支所のみ10月1日(土)に申請受付を行います。
●麻布、赤坂、高輪、芝浦港南地区総合支所及び台場分室
平成28年9月27日(火)～平成28年11月30日(水)
お問合せ／保健福祉支援部保健福祉課臨時福祉給付金担当
電話／03-3578-2846

給付金に乗じた振り込み詐欺や個人情報の詐取にご注意ください。

六本木町会からののお知らせ

六本木町会が創立60周年誌を作成しました。

今年、六本木町会が創立60年を迎え、これを記念して創立60周年記念誌を作成しました。記念誌には、これまでのあゆみ、関係者の話や町の古い写真などが掲載されています。記念誌は麻布地区総合支所で閲覧できます。
お問合せ／六本木町会
電話／03-3479-0391



みんなでエコっとプロジェクト参加者募集～みんなで知ろう身近な自然～

「環境やエコ」をテーマとして「見る」「知る」「体験する」機会を提供し、地域の子どもたちが自然や生きものを大切にしていける心を育てていく取組として、「みんなでエコっとプロジェクト」を平成27年度から実施しています。

平成28年度の最初は、有栖川宮記念公園を探索して、あなただけの「オリジナルエコバック」を作ります。
身近な自然から環境やエコを考えてみよう!!



自然観察の様子

- 日時 平成28年11月3日(木)午前10時から正午まで
- 場所 港区立有栖川宮記念公園(南麻布五丁目7番29号)及びありすいきいきプラザ(南麻布四丁目6番7号)
- 内容 自然観察及び「オリジナルエコバック作り」



エコバック作り

お問合せ／麻布地区総合支所協働推進課まちづくり推進担当
電話／03-5114-8815

- 定員 麻布地区に在住の親子15組
- 参加費 無料
- 申込方法 平成28年10月1日(土) 15時からみなとコールにて申込受付。応募多数の場合は、抽選とします。10月1日発行の広報みなとに掲載予定です。
- 申込期限 平成28年10月19日(水)厳守
- 備考 天候状況によりプログラムを変更する場合があります。

都税事務所からののお知らせ

9月は、固定資産税・都市計画税第2期分の納期です(23区内)

9月30日(金)までに、お手元の納付書裏面に記載されている金融機関、コンビニエンスストア等でお納めください。納税には、安心で便利な口座振替がご利用いただけます。金融機関・郵便局のペイジー対応のATM、インターネットバンキングやモバイルバンキング、パソコン・スマートフォン等からクレジットカードでも納付できます。詳細は、HPへ。http://www.tax.metro.tokyo.jp
お問合せ／【口座振替について】徴収部納税推進課
電話／03-3252-0955

小規模非住宅用地の固定資産税・都市計画税を減免します(23区内)

一画地における非住宅用地の面積が400㎡以下であるもののうち200㎡までの部分について、固定資産税・都市計画税の税額の2割を減免します(個人又は資本金・出資金の額が1億円以下の法人が所有するものに限る。)。減免を受けるためには、申請が必要です。
※未申請の方で、小規模非住宅用地を所有していると思われる方には、8月までに減免手続きのご案内を送付しております。
お問合せ／【港区にある物件について】港都税事務所 電話／03-5549-3800(代表)

港区麻布地区総合支所だより

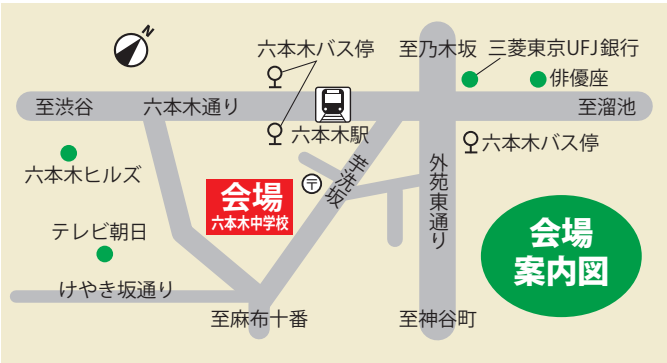


平成28年度港区総合防災訓練(麻布会場)を実施します～自助・共助意識を高めましょう～

日時 平成28年11月13日(日)
午前9時30分～11時30分

※天候により中止となる場合があります。

場所 港区立六本木中学校校庭及び体育館
(六本木6-8-16)



※参加された方には防災
関連の記念品をプレゼン
トします。(数量に限りが
あります)



今回の目玉!!

防災ってどんなもの?

防災ミニセミナー

「実際に役立つ」防災知識をみんなで学ぼう!

君も今日からレスキュー隊員!?

子どものレスキュー体験&車両展示

消防士のレスキュー訓練やパトカーの乗車
もできるよ!

いざという時のために…

ベランダからの避難体験

マンションを想定してベランダからの避難
をしてみよう!

アルファ米ってどんな味?

炊き出し訓練&防災グッズ配布コーナー

炊き出しで作ったアルファ米や防災備蓄品
がもらえるよ! ※数に限りがあります。

外国人向け
防災訓練ツアー

英語通訳と会場を回り、訓練を体験するツアーです。
お気軽にご参加下さい!

参加費 無料(事前申込必要)

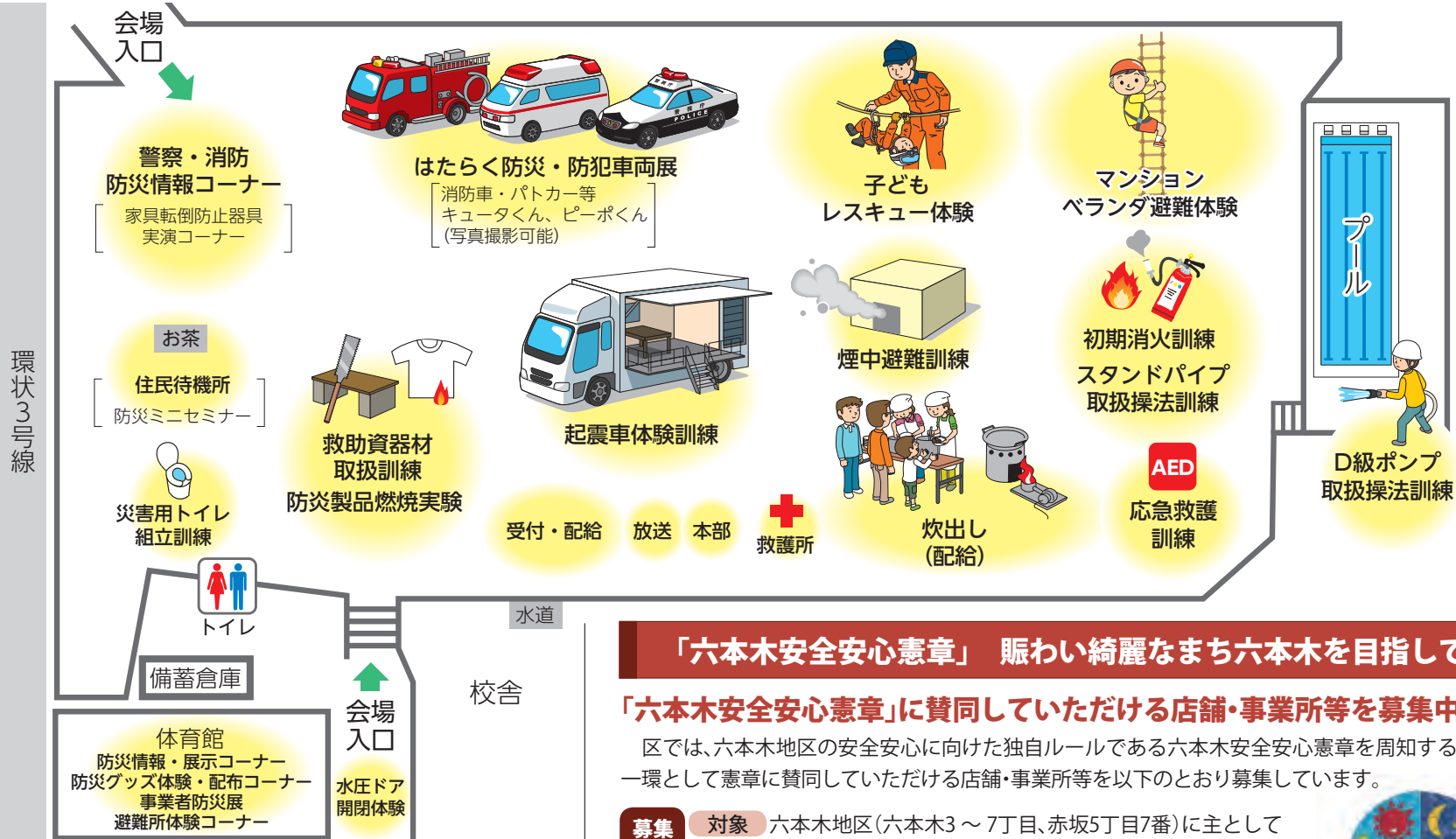
申込期間 平成28年9月26日(月)～11月11日(金)

申込方法 日本語または英語で(1)氏名(2)住所(3)
電話番号(4)日本語対応の可否(5)その
他特記事項を電話かFAXでお申込み
下さい。

電話/みなとコール03-5472-3710

電話受付時間:午前9時～午後5時

FAX/麻布地区総合支所協働推進課 03-3583-3782



※当日の訓練内容及び会場レイアウトは
変更になる場合があります。

他にも、初期消火訓練や起震車体験訓練など、様々な訓練を実施
します。どなたでもぜひ会場にお立ち寄りください。

お問合せ/麻布地区総合支所協働推進課協働推進係
電話/03-5114-8802

「六本木安全安心憲章」 賑わい綺麗なまち六本木を目指して

「六本木安全安心憲章」に賛同していただける店舗・事業所等を募集中!!

区では、六本木地区の安全安心に向けた独自ルールである六本木安全安心憲章を周知する取組の
一環として憲章に賛同していただける店舗・事業所等を以下のとおり募集しています。

募集
概要

対象 六本木地区(六本木3～7丁目、赤坂5丁目7番)に主として
活動する店舗・事業所等。

申込 賛同書をホームページ等から入手し麻布地区総合支所協
働推進課へ提出してください。賛同事務所等は港区公式ホームペ
ージや地域情報誌等に掲載されます。

「六本木安全安心憲章」については、こちらから

港区公式ホームページ <http://www.city.minato.tokyo.jp/>

六本木安全安心憲章

検索

お問合せ/麻布地区総合支所協働推進課協働推進係 電話/03-5114-8802



買い物
するなら
地元の
商店街で

ザ・AZABUへの
ご意見・ご要望を
お寄せくだサイ

ご住所・氏名・職業(学校名)・電話番号・ご
意見・ご要望(日本語又は英語、字数・様
式自由)を書いて、直接又は郵送・
ファックスで、〒106-8515 港区六本木
5-16-45 麻布地区総合支所 協働推進課
地区政策担当へ。

●電話/03-5114-8812 ●FAX/03-3583-3782

編集委員を
募集して
います

地域情報紙「ザ・AZABU」は
ホームページからも
ご覧になれます。

「ザ・AZABU」は英語版
も発行しています。



ザ・AZABU

●配布設置場所ご案内
六本木1丁目、六本木、広尾、麻布十番、赤
羽橋の各地下鉄の駅、ちいばす車内、みなと
図書館、麻布図書館、南麻布・ありす・麻布・
西麻布・飯倉の各いざいきプラザ、麻布区民
センター、麻布地区総合支所等

●本紙掲載の記事・写真・イラストの
無断転載を禁じます。

Chief 田中亜紀
Sub Chief 高柳由紀子
Staff 出石供子 田中康寛
石川味季 寺尾周祐
大澤佳枝 森 明
大村公美子 畑中みな子
小池澄枝 山下良蔵
下地麻由子 渡辺久剛
関口 誠

編集後記

閉館後の夜のスヌーピーミュージアムの取材、分刻みで動く医師を
追いかけるインタビュー、ドイツ大使館の庭園の撮影や自転
車シェアリングの検証では、暑い中たっぶり汗をかきました。史料を
読み込んで仕上げたのが、なだれ坂の歴史、そして広岡浅子とヴォ
ーリス夫妻の物語です。各々の作業は大変でしたが、それに勝る感動を
たくさんもらえたと思います。これからも愛情をもってザ・AZABUを
育んでいきたいと、編集委員一同願っています。

(田中亜紀)

「みなとコール」は暮らしの疑問にまとめてお答えします!

区役所のサービスや施設案内、催し情報など、お気軽に問合せください。
年中無休/午前7:00～午後11:00 ※英語での対応もいたします。

電話/03-5472-3710 FAX/03-5777-8752

Eメール/info@minato.call-center.jp

“Minato Call” information service
Minato call is a city information service, available in English every day from 7 a.m. - 11 p.m.
Minato Call: Tel: 03-5472-3710; Fax: 03-5777-8752; E-mail: info@minato.call-center.jp